

# ◆◇地域密着型オペラ「イソップ物語三部作」◇◆

(親子参加型ワーク・ショップ付き)

## 二期会・新歌劇 “ママと一緒にオペラをどうぞ” ～もちろんパパも一緒に～

この度、二期会の新しいパフォーマンス集団として、「二期会・新歌劇」を発足させていただくこととなりました。

作曲家の松井和彦氏を中心に、東京二期会2400人を超える会員の中から、特にキャラクターの出せる日本最高レベルのソリストメンバーがここに集まり、不要なプライドを捨て、その秘められた本能をあらわに表現する、これまでに存在しなかった「価値観」を築いていきたいのです。

そこで我々は、観客の知的欲求に堅実に、教育的欲求に確実に応えながらも、声楽アンサンブルの尽きない面白さ、新しい面白さ、危険な面白さを味わってもらい、「正統的、教育的」と、「前衛的、革命的」の強烈な共存を目指しています！！

今、教育現場ではゆとり教育のしわ寄せとして、音楽の授業が減らされていると聞きます。そんな折、子供たちに、このような本物に触れる機会を与えることができれば、もっとクラシック音楽を身近なものと感じさせられるのではないのでしょうか？そうしたことによって、人間



の真の心の教育に繋がり、現在、我々が抱える社会の問題に対処できる表現力を持った人間の育成にも役立つのではないかと信じています。

静かなクラシックのコンサートが多い中、こんなに大きな声で一緒に笑って、誰にでも楽しんでいただけるコンサートがあってもよいのではないのでしょうか。

私たちの新しい提案を是非、皆様、応援してください。

今後、それぞれのニーズに合ったプログラムを用意し、学校公演等、様々な場所に出向き、この「二期会・新歌劇」をひとりでも多くの方に楽しんでいただけることを願っています。どうぞ「二期会・新歌劇」をよろしくお願い申し上げます。

## 公演構成

ワークショップ+オペラの一体化公演

※本企画は地域のオーケストラや合唱団とのコラボレーションも可能であり、オペラを切り口とした地域住民参加型の事業を通じて地域の活性化を図って行くものです。

## 内容詳細

### ☆ワークショップ（ホールスタッフ&客席とが一緒に作り上げ体験する舞台）

最近、従来的一方通行型のクラシックコンサートでは、お客様を満足させるに足らず、舞台と客席が一体化し、ご来場いただいたお客様と一緒に参加する形のワークショップの需要に私たちは気づき、二期会・新歌劇では、オペラ公演に関するワークショップを行います（内容詳細は下記ご参照下さい）。

### ◆ポイントは「地域住民参加型オペラ」であること！！

第一線で活躍する二期会会員と地域合唱団とが協力して一つのオペラを作り上げる「イソップ物語三部作」。舞台セットは親子参加型のワークショップで製作した舞台を使用し、合唱パートには値域の方々にも協力していただきます。

また欠かせないのが地域ホールスタッフの協力です。ワークショップやオペラ上演には**ホールスタッフの方々**が**主役**です。地域の皆さんとホールと一緒に作り上げるのがこの企画の主旨です。

## 対象

未就学児を含めたお子さんから、音楽通のお年寄りまで。  
音楽鑑賞教室などにも適応。

## ワークショップ内容

- \* 下記記載の豊富なワークショップ選択肢の中から、地域ホールが置かれている環境やその予算規模、事業担当者の希望等に応じて、柔軟に組み合わせながら創り上げていく。

○原作朗読会： 演出家彌勒忠史による親しみやすい朗読会を行い、オペラ公演を見る前に、原作の内容を知ってもらう。



### ○舞台セット工作会：

実際のオペラ公演には、「ひつじ」や「木」などオペラ上演には欠かせない舞台セットがあります。それを子供たちと一緒に作りあげ、総合芸術（舞台&衣装&照明など全ての芸術の集大成）であるオペラに触れてもらい、その子ども自身が作り上げた舞台が、そのままオペラ公演の本舞台となる。



○舞台見学ワークショップ： 舞台裏ってどうなっているの？舞台上から見た客席はどうなっているの？こうした疑問を払拭するべく、地域ホールスタッフ皆さんが主体となって、お客様に普段上がれない舞台に上がってもらい、実際にオペラセットを目の前で見たり触れたり、写真撮影をしたり通常のオペラ公演ではありえない体験をしてもらいます。



### ○音楽用語実演ショー：

オペラって難しい？大声で歌うのは恥ずかしい・・・  
そんな心配無用なのが、このワークショップ！  
オペラ歌手と一緒に、「p」や「f」「クレッシェンド」など  
難しそうな音楽用語を実際演奏してみると、な～んて楽しい！  
ex お化け屋敷が「クレッシェンド」？  
笑い声は「スタッカート」？など  
歌は誰でも奏でられる最高の楽器です。子供たち、大人も一緒に音楽用語を楽しみながら大声で実演してみる企画。

○地域密着型ワークショップ： イソップオペラ3部作のうち「羊飼いと狼」では、合唱パートが重要になります。その合唱パートを地域の合唱団に協力頂き、二期会歌手のワークショップで専門的な指導を受け、一定期間稽古を積み、プロの歌手そして地域の合唱団と協力して一つの舞台を作り上げます。

\*ワークショップ所要時間： 選択肢の組み合わせにより様々だが、概ね30分～1時間

(行うワークショップによって時間差あり、また数日間必要なものもある)

## オペラ公演

### ■ イソップ物語三部作 松井和彦作曲 (全オペラ上演時間 80 分 《休憩込み》)

出演：二期会・新歌劇

歌手 10 人 演出&朗読家 ピアノ 1 台 打楽器 指揮者 各 1 名ずつ

\* 単体オペラとしての上演も可能

「北風と太陽」(上演時間 20 分) 出演：歌手 3 人 ピアノ 1 台 打楽器 指揮者  
世界中を明るく照らす太陽はみんなに歓迎されています。それがおもしろくない北風は、太陽に力くらべをしようと持ちかけます。いったいどうやって力くらべをするのでしょうか？いったいどちらが勝つのでしょうか！？

「金の斧 銀の斧」(上演時間 25 分) 出演：歌手 3 人 ピアノ 1 台 打楽器 指揮者  
ある木こりがいつものように森で木を切っていると、ふとしたはずみで池に大事な斧を落としてしまいます。どうすることもできずに困っていると池の中から水の精が出てきて、池の底に落ちていたという金や銀の斧を次々と持ってきます。木こりが落とした斧はただの鉄の斧だったはずなのですが……

「羊飼いと狼」(上演時間 20 分) 出演：歌手 10 人(若干削減可) ピアノ 1 台  
打楽器 指揮者  
羊飼いの少年は毎日の仕事が退屈でなりません。そこで「オオカミが出たぞ！」とウソの叫び声をあげます。すると村の大人たちは大慌て。みな、武器を持ってやってきますが、ウソだとわかってガックリ。怒るに怒れず帰ってゆきます。騒ぎが面白かった少年はそのあとも繰り返してウソをつきます。しかしあるとき本物のオオカミがやってきて……。

### ■ 上演可能 松井和彦作曲他オペラ

「泣いた赤鬼」(上演時間 1 時間 5 分)

あるところに心のやさしい赤鬼が住んでいました。赤鬼はいつも人間と仲良しになりたいと思っていましたが、人間は鬼を気味悪がったり、怖がったりするのでなかなかうまくいきません。しょんぼりしていると友達の青鬼がやってきて良い考えがあると言います。いったいどんな考えなのでしょう？赤鬼は人間たちと友達になれるのでしょうか？

「浦島太郎」「花咲かじいさん」他

- 場所： 上演には照明、ピアノ、打楽器などが必要な為、ホールでの上演が望ましいが、体育館や集会所などの場所での上演も応相談。
- 経費： 出演料や照明、打楽器運搬費など、その場にあった公演作りが可能なため、単体オペラ上演など様々なプランも含め応相談。

公演実績： 2008年6月・7月 横須賀芸術劇場 (チケット完売)  
 オペラ宅配便シリーズⅧ「ママと一緒にオペラをどうぞ」  
 「イソップオペラ3部作」「泣いた赤鬼」  
 2008年11月 久喜総合文化会館 (チケット完売)  
 親子で楽しむ・ワークショップ付きオペラ公演  
 「北風と太陽」

◆◆ 彌勒 忠史 (みろく ただし) ◆◆



1968年、東京都生まれ。千葉大学大学院修了。東京藝術大学音楽科卒業。カウンターテナー歌手。「バッハ・コレギウム・ジャパン」に参加後、一九九九年より、ヨーロッパを中心としてリサイタル、オペラ、テレビ・ラジオ出演。また、CD録音などの活動を行う。イタリア国立G・フレスコバルディ音楽院講師を経て、東京藝術大学音楽科助手、学習院生涯学習センター講師。「在日本フェッラーラ・ルネサンス文化大使」の称号も持つ。

ソロCDに「音楽装飾されたマドリガーレ Madrigali diminuiti e passaggiati tra voce e cembalo」、「シレーヌたちのハーモニー L'armonia delle Sierene」(以上 Tactus)、「イタリア古典歌曲集」(キングインターナショナル)がある。二期会会員

◇◆お問合せ◆◇

株式会社二期会21

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-25-12 Tel: 03-3796-4711 Fax: 03-3796-4710